

2020年関西電子業界新年賀詞交歓会

関西支部は1月8日(水)に大阪のリーガロイヤルNCBで、(一社)KEC関西電子工業振興センター、近畿地区家電流通協議会、全国電機商業組合連合会近畿地区協議会、組込みシステム産業振興機構との共催により2020年関西電子業界新年賀詞交歓会を開催しました。

開会にあたり、主催5団体を代表し、当支部・長榮周作支部長(パナソニック(株)取締役会長)より挨拶がありました。



長榮支部長挨拶

昨年を振り返りますと、新天皇陛下が即位され、令和の時代がスタートしました。6月にはG20大阪サミット、秋にはラグビーワールドカップが開催され、ラグビーでは日本の活躍が「ONE TEAM」のスローガンと共に大きな話題となりました。一方で、台風15号をはじめ多くの自然災害も発生しております。被災された皆様が一日も早く元の生活を取り戻せるよう、心より祈念する次第でございます。

世界に目を向けますと、米中貿易摩擦は昨年末に第一段階の合意が発表され、英国のEU離脱も確実となりました。日韓関係ではようやく対話が再開されましたが、いずれも先行きは不透明で、引き続き注視していく必要があります。

日本では、消費増税の影響は限定的との見方が多数を占めている他、輸出も遠からず底を打つと思われませんが、内需は引き続き力強さに欠けるとするのが実感ではない

でしょうか。

本年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。景気には、マインド的な高揚も影響すると思いますので、大きな盛り上がりを期待したいと思います。オリンピック・パラリンピックは、Society 5.0に向け、大きく踏み出す機会でもあります。5年後の大阪・関西万博を目標に、IoT、ビッグデータ、AI、5Gなどの新たな技術を活用し、あらゆる産業と連携していく必要があります。

JEITA関西支部でも、「技術セミナー」の開催などにより、新たな技術に関わる最新の情報を発信していきます。また、Society 5.0に求められる人材の育成に向け、大学における「JEITA関西講座」や、小学生の「ものづくり教室」も充実させてまいります。本日の主催5団体におきましても、共に連携し、ご臨席の皆さまのお力もお借りしながら、地域の活性化に貢献してゆく所存ですので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

続いて、来賓を代表して米村 猛 近畿経済産業局長ならびに佐々木祐二 近畿総合通信局長よりご祝辞をいただき、祝電披露の後、(一社)KEC関西電子工業振興センターの宮部義幸 会長(パナソニック(株)専務執行役員)の発声で乾杯を行いました。



近畿経済産業局・米村局長様



近畿総合通信局・佐々木局長様

1時間弱の歓談を経て、全国電機商業組合連合会近畿地区協議会の牧野伸彦 会長の中締めにより会を終りました。約240名の参加があり、一年のスタートにふさわしい賑やかな会となりました。